

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.49

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り
ください

2019年 5月号

ホームページ <http://www.hamada-nh.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>
🔍 浜田医療センター で検索！

特集／浜田医療センターでは
手術の後は痛くない？

診療部長 麻酔科 土井 克史

病院にはどんな仕事があるのかな？

～電子カルテヘルプデスク～

地域人vol.35

「目の前の笑顔のために、共に生きる」

グリーンケア芳縁 代表
(NPO法人あつたかいいねっと:代表理事、
共生型デイサービスお天気のいいね:所長) 植田 由香理

地域のホスピタリティを訪ねて

島根県公安委員会指定
はまだ自動車教習所 理事長 土田 好明



浜田医療センターの基本理念を、 4月1日より変更しました

理 念

医療を通して「地域で生きる」を支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

長年掲げてきていました当院の理念である「心のこもった、情のある医療」を平成31年4月1日より刷新し、「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」といたしました。浜田医療センターは浜田医療圏域において唯一の高度急性期・急性期患者を受け入れている病院であり、同時に地域住民の多様なニーズに対応しなければならない最後の砦としての医療機関でもあります。

少子高齢化の最前線を走っている地域でありながら、これまでは急性期患者さんを対象とした「治す医療」を中心に据え、医療の高度化に対応することを目的としてきました。もっとも、このことは地域住民の切なる願いでもありました。しかし、ここ10年間で国の社会保障政策は少子高齢化への対応に迫るものとなり、地域包括ケアシステムの構築へ向けた新たな医療・介護のパラダイムシフトが起きています。“治す医療”には質の向上が求められ、“支える医療”には介護を含めた地域との連携が必須です。同時に病院は町づくりの一つの要素として重要な役割を果たしています。すべての地域住民が病院の最も重要なステークホルダーであり、その意味で地域社会への貢献なくして病院は存在し得ません。「地域で生きる」ことをすべてに支援できるわけではありませんが、地域包括ケアシステムの中で医療が介在する範囲は広がって行かなくてはならないと思います。浜田医療センターはこの理念をもって島根県西部地域の皆様に必要とされる病院、地域に貢献できる病院にしていきたいと思ひます。

浜田医療圏では急性期を担う病院として浜田医療センターと済生会江津総合病院の公的病院が担ってきました。Post急性期という視点からすると両院ともに回復期、慢性期の一部を担う必要があります。地域医療構想など医療制度と診療報酬の流れを見ますと、介護保険と医療保険の境界がなくなりつつあり、医療の一部が介護へシフトするものと思われまふ。診療報酬改定の方向性として、より在宅へのシフトが求められ、施設基準等での要件としての結果outcomeが求められるものとなりました。地域包括ケアシステムの構築に向けて変化する環境のなかで、これまでの医療レベルを下げることなく地域に見合った病院機能を担っていきたくて考えています。

急性期医療に関しては医療のレベルアップはまだ十分とは言えません。しかし、人口が減少していく中で将来を見据えてどの程度の医療レベルを保っていくのが妥当なのか、住民がどこまでのレベルを求めているのか、見極めなければなりません。国の財政事情を鑑みますと患者さんの意識変革も必要かとも思ひます。

すでに超高齢化社会に入っているこの地域での医療はどうあるべきか、もはや疾病治療としての急性期医療だけではなく、高齢者を地域ともに支えながら必要な医療を提供できるよう、皆さんと考えていきたいと思ひます。

浜田医療センター 院長 石黒 眞吾

浜田医療センターの理念

医療を通して

「地域で生きる」を

支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<http://www.hamada-nh.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索！

contents

- 2 病院理念の変更について
- 3~5 特集：浜田医療センターでは手術の後は痛くない？
- 6 病院にはどんな仕事があるのかな？
- 7 地域人 vol.35
- 8 日本麻酔科学会若手奨励賞受賞
- 9 地域連携室
- 10 研修医だより
- 11 認定看護師の活動について
- 12~14 辞令交付式／新任医師の紹介
- 15 浜田市長による研修医歓迎激励会
- 16~17 看護学校だより
- 18 地域のホスピタリティを訪ねて
- 19 がん治療経験者と話してみませんか／健康レシピ
- 20 外来診療担当医表

浜田医療センターでは 手術の後は痛くない？



診療部長 麻酔科

土井 克史

【どい・かつし】

・島根医科大学医学部：昭和60年卒業
※医学博士、島根大学医学部臨床教授
埼玉医科大学客員教授
日本麻酔科学会指導医・専門医
日本ペインクリニック学会専門医
日本救急医学会専門医

はじめに

浜田医療センターは、島根県西部の基幹病院をめざしています。手術室では毎日たくさんの手術が行われています。がんや心臓病に対しての大手術をはじめ、救急で行われる外傷、骨折など、また帝王切開も数多いです。平成30年には2400人以上の方が手術を受けられました。

患者さんは手術中麻酔が効いてぐっすりと寝ています。そのため痛みを感じません。しかし手術の後、麻酔が覚めてからはどうでしょうか？「痛くないかな」と、とても心配されている方が多いと思います。当院での手術の後の痛みの対策を紹介します。

手術後の痛みとは

一口に手術の痛みといっても、原因は様々です。皮膚や筋肉を傷つけることで体性神経(知覚神経)を刺激して、脊髄、脳を伝わって生じる痛みが最も主な原因です。また内臓の傷からは交感神経(自律神経)を刺激することにより痛みが生じます。ほかにも手術に伴う組織の傷での炎症(熱や腫れなど)による痛みや切られた神経が異常興奮して神経や脊髄の異常が生じた神経痛も起こります。それらの痛みにはその発生原因に応じた対応が必要です。

手術後の痛みに影響することから

手術後の痛みの強さや性質、持続期間に影響することからして様々なものがあります。患者さん側の要因としては、遺伝子レベルによる患者さんの持って生まれた性質が最近注目されています。そのほかにも手術の前の痛みや不安、恐怖が強いと術後の痛みも強くなります。また手術中の麻酔方法によっても手術後の痛みに影響します。伝達麻酔(硬膜外麻酔や神経ブロックなどの局所麻酔)を応用すると痛みが少なくなります。また、当然のことですが、手術の部位や手術の傷の大きさ、どの内臓まで及ぶかなどで影響されます。特に肺などの開胸術、胃や肝臓などの上腹部手術では、痛みが強く、乳腺などの体表の手術では比較的弱い痛みです。人工関節などの骨を傷つけると強い炎症が生じ痛みが強くなります。

《術後の痛みの原因》

①体性痛

組織の傷による痛み(組織の切開、圧迫、伸展)

②炎症による痛み

化学物質(ブラジキニン、セロトニン、プロスタグランジン、サイトカインなど)が放出

③内臓痛

- ・内臓器官が引っ張られたり、引き裂かれたりしたことに対する生体反応
- ・交感神経が関係する

④神経痛

- ・末梢神経への刺激(痛み)が続くと、神経が過敏となる
- ・中枢神経での神経伝達の異常も起こる

術後痛の全身へ与える影響

昔の外科医は術後痛は生きている証拠と言っていたが、手術後の痛みが全身に与える多くの悪影響がわかってきました。深呼吸や咳ができないため、無気肺や肺炎を起こしやすい。交感神経の緊張によって、心臓が興奮したり、血管が収縮したりします。このため血圧上昇、不整脈、心筋梗塞の発生率を高めます。またエコノミークラス

症候群として知られている深部静脈血栓症も増えてきます。そのほかにも手術後の痛みは、術後イレウス(腸閉塞)や遷延痛(数か月以上続く痛み)にも関係します。手術後早期に痛みによる不安や恐怖があると、医療者側に対する不安感が生じて、その後の治療に影響を及ぼします。手術の後の痛みは我慢せずすぐに看護師さんに伝えてください。

術後の痛みの管理法の実際

術後の痛みを使用する鎮痛薬には様々な種類があります。またその鎮痛薬の投与経路も様々です。一人の術後の患者さんに対して、多種類の鎮痛薬を複数の投与方法を組み合わせる方法であるmultimodal analgesia(複合的または多面的鎮痛法)と呼ばれるものが推奨されています。たとえば、炎症の痛みに対しては、非ステロイド系抗炎症薬(NSAIDs)の静脈内投与や経直腸、内服で対応します。大きな傷による体性神経の刺激に対しては、オピオイド(麻薬の一種)や局所麻酔薬の硬膜外投与がよく反応します。そのほか神経痛に対しては抗うつ薬や鎮静薬が有効な場合が多いです。これらの痛みや薬剤の特性を理解して、一つ一つの鎮痛薬の必要投与量を減らし、副作用がなく、有効な鎮痛を行うことができます。

《痛みをなくす方法》

薬剤による分類

- ・非ステロイド性抗炎症薬
- ・アセトアミノフェン
- ・局所麻酔薬
- ・オピオイド(麻薬)
- ・鎮静薬
- ・抗うつ薬
- ・抗痙攣薬

投与部位における分類

●全身投与

- ・経口投与
- ・皮下注射
- ・筋肉注射
- ・静脈内注射
- ・坐薬

●局所投与

- ・硬膜外投与
- ・脊髄くも膜下投与
- ・末梢神経ブロック



当院の術後鎮痛法の特徴

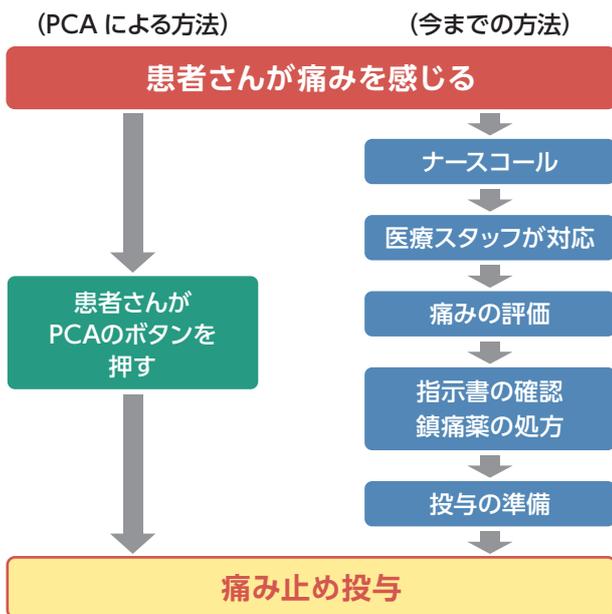
浜田医療センターで行っている世界標準の鎮痛管理方法の一部を紹介します。

1. 自己調節鎮痛法(patient controlled analgesia : PCA)の利用

PCAとは患者自身の判断で静脈内や硬膜外に留置したカテーテルから、患者さん自身で自ら鎮痛薬を投与方法です。専用の器具を用いて、自分でボタンを押して、体に入れることができます。自分自身で鎮痛薬を投与できるということは看護師さんの手を煩わす必要がなく、すばやく痛みを取ることができます。患者さんの満足度は向上します。

また痛みを取るのに必要な鎮痛薬の最小血中濃度は個人差が大きく、同じ痛みに対して4から5倍の個人差があるとも言われています。そのため、持続注入法や医療者側からの画一的な投与方法では有効な血中濃度に達さなかったり、多すぎて副作用が出ることがあります。PCAはそれぞれの個人に合った副作用のない上に有効な投与を行うことができます。

【自己調節鎮痛法(patient controlled analgesia:PCA)の利点】

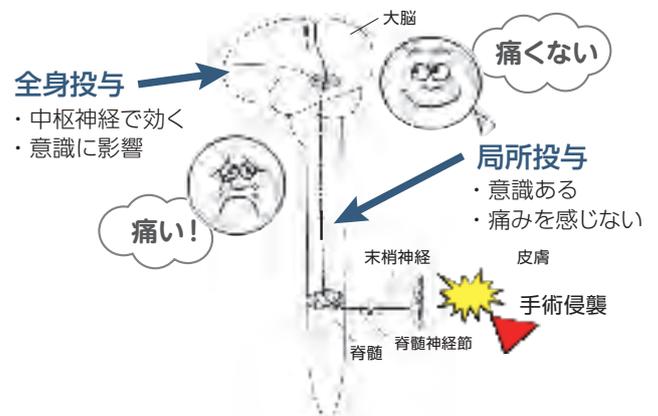


2. 区域麻酔の応用

手術の後の痛みは、手術によって傷つけられた皮膚、筋肉、骨、内臓などから、痛み刺激が末梢神経を通じて、脊髄を経由して脳まで達することで感じることができます。そのために末梢神経レベルで局所麻酔薬を用いてその刺激を遮断して脊髄へ伝わらないようにすると痛みは弱くなります。その方法を区域麻酔といいます。脊椎に針を刺す硬膜外麻酔は古くから行われています。手術のための全身麻酔をする前に背骨に注射して細いカテーテルを入れて、手術後まで痛みどめを投与方法です。

最近では末梢神経ブロックといい、上肢や下肢の手術に対して、腕や太ももの付け根に注射やカテーテルを入れて薬を投与方法がとられています。また腹部手術でも腹筋の周囲に注射することもあります。浜田医療センターでも多くの手術で区域麻酔を応用しています。特に整形外科の手術では痛みのない術後経過を得ています。

【区域麻酔(局所投与)の有用性】



超音波ガイド下に坐骨神経ブロックを行ったところ
整形外科膝関節手術の術後の痛みにも有効

まとめ

術後鎮痛の目標として、術後に苦痛なく早く身体を動かせることと鎮痛法の副作用を最小限度にすることが望まれます。具体的には術直後に深呼吸が、また早期に体位変換や歩行ができるように努めています。

浜田医療センターでは、その目標を達成するために患者さんに合った鎮痛方法を行っています。術後痛は全くないとは言いませんが、ごく少ないので安心して当院で手術を受けてください。



病院には どんな仕事があるのかな？

病院は、病める人を社会復帰させることを目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。病院の中には、さまざまな業務があります。

医局・看護部・薬剤部・検査科・栄養管理室・放射線科・リハビリテーション科・臨床工学科・事務部・地域連携室などで働いている専門職種がチーム組んで、それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、患者さんに最も適した最新の治療にあたっています。

また、適切なアドバイスや必要な情報提供を行って早期社会復帰への手助けをしています。

FILE: 14 電子カルテヘルプデスク

Electronic medical record help desk

働いている方に
INTERVIEW

電子カルテヘルプデスクの仕事

～ ヘルプデスク・田中さんに聞いてみた～

ヘルプデスクについて

私たちヘルプデスクは、院内で使用している電子カルテ端末の管理や、電子カルテに関する事の問い合わせ窓口としての業務、トラブル発生時の一時対応窓口業務をしています。

病院職員相手の対応が多く、患者さんと直接お話をさせていただく機会は殆どありませんが、病院内でパソコンやプリンターを運んでいたり、機械を前に作業したりしている姿を見かけた事がある方もいらっしゃるのではないかと思います。

業務内容について

ヘルプデスクの主な業務内容は、日々、電子カルテを使う中で職員が感じる様々な「困ったこと」に対する解決方法の調査や、電子カルテで使用している資源の管理です。資源の管理に関しては、機械類のハードウェア、システムなどのソフトウェアの両方に関わっています。

ハードウェアの管理では、電子カルテで使用する機器類（パソコン、プリンターやバーコードリーダーなどの周辺機器）がなるべく不足しないように、故障した機器についての連絡があれば、故障原因の切り分けを行い、機器の交換から修理依頼、修理後の機器を再び使用できるようにするための設定をしています。

ソフトウェアの管理では、電子カルテを使用する上で必要な各種データの作成や、使いやすい画面の設定をしています。

診察の際に患者さんにお渡しする書類や、職員が患者さんに安心してケアを受けていただくために使用しているチェックリストや手順書などの原案を担当者から受け取って文書化し、電子カルテのある場所ではいつでも確認できるようにしておくのも、私たちの仕事です。

企画課事務助手
田中 亜希子



ヘルプデスクメンバー（左から田中、笹後）

医療職からの問い合わせ内容は多岐に渡っており、未だに初めて対応する内容も多く戸惑うこともあります。問い合わせをしてきている職員の手を止める時間を最小限でとどめたり、トラブルが発生した時に拡大させることの無いよう、日々奮闘しています。

時には緊急を要する対応を求められることもあり、迅速な判断と対応を行わなければならない時があります。難しいと感じることも多いですが、その分、とてもやりがいを感じられる仕事だと思います。

問い合わせの原因によっては自分の力だけでは解決できないこともあり、業者さんへの状況説明や対応依頼など、周りの方に助けていただくこともあります。

自分の力不足を感じることもありますが、一つ一つの経験から学ぶことや、業者さんに教えていただくことも多く勉強になっています。

今後の目標

ヘルプデスクは裏方ではありますが、職員の日々の業務を支えることで、患者さんが病院で過ごされる時間を支えることにもなる、大事な仕事だと思っています。

電子カルテだけでなく、病院業務を支えるために必要な技術の習得を含め、自分自身の知識をより深めていくと共に、職員が日々の業務をスムーズに行えるよう、縁の下の力持ちとしてこれからも励んでいきます。

地域人

vol. 35



「目の前の 笑顔のために、 共に生きる」



グリーンケア芳縁 代表
(NPO法人あったかいいねっと：代表理事、
共生型デイサービスお天気いいね：所長)

植田 由香理
(うえだ・ゆかり)

今回の「地域人」は、グリーンケア芳縁 代表の 植田 由香理さんをご紹介します。

活動のきっかけ

12年前、主人を突然亡くし、10歳と4歳の子供を抱えて、私は失意のどん底にいました。抑うつ、引きこもり、不眠など心身の状態も乱れていました。そんな自分が今元気でいられるのは、グリーンケア・グリーンカウンセリングに出会い、学び支えられてきたからです。浜田の町の中に、安心して涙を流せ、ゆっくり自他の話を聞き支え合える場が欲しい。グリーンケア・カウンセリングの学びを活かし伝える場があったなら、人は大きな悲嘆につぶされにくくなるのではないかと、次なる病氣や自死を作らなくてすむのではないかと考えました。

2012年5月、友人の協力もあり、様々な喪失体験により生じたグリーフ(悲嘆)に寄り添える任意の市民団体『グリーンケア芳縁』を設立し、支える立場として活動を始めました。

やりがい、心がけていること

設立当初は友人と2人で延々参加者が来るのを待ち運営する日々でしたが、現在は痛みの分かち合いの参加者の方々が、この会の必要性和会運営にやりがいを感じ事務局など引き受けてくれ共に活動できていますので本当に有難くやりがいを感じています。私は家族を失いましたが、この会のおかげで、新しい大きな家族に恵まれてきていることが何よりも喜びとなっています。

心がけていることは、「一人一人喪失体験も違い価値観も立場も違いグリーフも異なる」ということを踏まえ、常に白紙の状態でお出逢わさせていただいています。狭い地域での活動の為、個人情報が入り込んでしまいがちなので、痛みの二次被害ができる限り起きないように守秘義務については毎回お話をさせてもらい、極端な場合、町で出会うかも知れないふりをする等参加者の方々に協力をお願いしています。

触れ合ったエピソード

定例会の中で参加者の方が、辛く苦しい表情・涙とともに「もう死んでしまいたい。死んだほうがまし」とよく呟かれます。そんな時はじっくり話を聞きながら「死な

せませんよ!」とスタッフ一同涙をためた笑顔で声をそろえる場面が幾度となくあります。

そして回を重ね月日がたち、辛い想いの合間から暖かい涙へ変わり笑顔が戻ってきている姿に出会う回数が増え「この会に来て良かった。あんたらに出会ってなかったら、とうに死んでた」と話されるのを聞くと一安心し本当にやってきて良かったなと感じます。

今後、自分が地域の方に対して伝えたいこと

活動の中で仲間も増え、同時に会の参加対象者を死別喪失体験に限らず間口を広げたため、いじめやパワハラ、人間関係の難しさから自己否定し自分自身を失いかけている方々などとの出会いもあり、町の中に潜む課題に向き合い、弱い立場の方や生きづらさを感じる方々を支え合う社会づくりへの関心が強まってきました。

グリーンケアの活動は、看護師をしながらライフワークとして取り組んできましたが、「もっとしっかりした活動がしたい。しなければならぬ」との思いが強くなり、本格的に活動を始める覚悟を決めて昨年勤めていた病院を退職し、『NPO法人あったかいいねっと』を設立しました。

私のように、それぞれが原体験としてNPO活動に取り組む理由を持っている仲間にも恵まれ、命を大切に共に生きる支え合いの社会につながる「地域共生社会拠点づくり」の活動を行い『共生型デイサービスお天気いいね』の運営を開始すると同時に、『ともいきサロン』として地域に開いた障がいのあるなしにかかわらずどなたでも参加してもらえ共に育ちあうことの出来る共生型交流サロン活動も行っています。これからも共に働く仲間と共に、目の前の笑顔のために頑張っていきたいと思えます。

*共生型サービスの必要性は、国(厚労省)が制度を平成30年4月に新規創設し、浜田市も条例を制定するなど、既に広がりを見せていて、赤ちゃんからお年寄りまで、障害のあるなしに関わらず、共に生き支え合える社会を作るための有効策とされています。

**NPO法人あったかいいねっと
共生型デイサービスお天気いいね
グリーンケア芳縁**

高根県浜田市熱田町1129番地1
Tel:0855-27-4966 Fax:0855-25-5266
Mail:npo@attakaiinet.org
問い合わせ時間/9:00~16:00(月~金)

▼あったかHP



▼グリーン芳縁HP





表彰される平林先生

「日本麻酔科学会 2018年度若手奨励賞(臨床)」 を受賞しました

診療部長(麻酔科) 土井 克史

このたび、浜田医療センターの麻酔科で行った臨床研究が、日本麻酔科学会の若手奨励賞を受賞しました。

今回、受賞の対象になった論文は、『Prophylactic Pentazocine Reduces the Incidence of Pruritus After Cesarean Delivery Under Spinal Anesthesia With Opioids: A Prospective Randomized Clinical Trial』というタイトルで、米国の専門雑誌である *Anesthesia & Analgesia* に掲載されています。主著者は2014年から16年にかけて浜田医療センターに在籍された平林政人先生です。

この研究の内容は以下の通りです。帝王切開の術後の痛みはとても強いですが、腰からの局所麻酔薬に麻薬であるモルヒネを少量入れると、痛みが長い間抑えられ、術後の授乳や歩行も可能で、有用です。この麻酔方法は2012年に、私が赴任してから始めて、2013年の産科麻酔学会で発表して、論文にしました。しかし副作用としてのかゆみの頻度がとても高く、眠れない方もいらっしゃいました。調べてみると世界中で多くの薬剤がかゆみを予防するために試みられていますが、有効なものはありません

でした。そこで島根大学の今町憲貴先生と協力し、ペンタゾシンという鎮痛薬に着目し、そのかゆみに対する予防的効果を検討しました。平林先生は積極的にこの分野を勉強し、研究に取り組みました。その後良い結果が出たので、2015年の日本麻酔科学会、2015年のヨーロッパ局所麻酔学会で学会発表、2016年に今回の論文が完成し、2017年に発行されました。この結果を踏まえた方歩によって、当院では副作用のかゆみの程度が軽くなり、患者さん、産科の先生方にも好評です。現在はこれまでの研究を進めて、さらに快適な帝王切開が受けられるような方法がないか、島根大学と共同研究を行っています。

本研究の実施に当たり、当院4階北病棟、および手術室の看護師さん、助産師さん、産婦人科の先生方、薬剤部、医療クラークの皆様から多くのご援助、ご協力をいただきました。もちろんたくさんの患者さんにも協力をいただきました。本当にありがとうございました。一地方の中小病院から世界に発信できる臨床、研究を行うためには医師のみではなく、多くの部署の連携と地域の皆様のご理解が必要であると思います。今後ともよろしく願いいたします。



地域医療連携室は、地域の医師会や医療機関と連携して地域医療ネットワークを整備し、できるだけ当院とかけつけ医療機関との業務分担を行い、地域の患者さんが安心して継続的医療を受けられるようサービスの向上を目的としています。



地域連携室

新スタッフ紹介



地域医療連携係長 長野 敏女

濱田看護師長の後任として4月より地域連携室に配属になりました。「医療を通じて『地域で生きる』を支援する」という病院理念のもと、地域医療連携を深めて迅速丁寧な対応に勤めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



社会福祉士(MSW) 山本 悠策

4月から採用になりました。浜田出身で、岡山、広島を経て10数年ぶりに地元浜田に戻ってきました。前職は特養、ショートステイの担当相談員で、病院勤務の経験はありませんが、1日でも早く浜田の地域連携に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

令和元年度 地域医療従事者研修会のお知らせ

- 毎月1回 18:00～19:00
- 会場：浜田医療センター 2階 総合研修センター

第1回 5月23日(木)	糖尿病の食事について	管理栄養士 酒永 智子
第2回 6月20日(木)	脳卒中予防	脳卒中リハ看護認定看護師 折口 智美 看護師
第3回 7月18日(木)	麻薬について	薬剤部長 八本久仁子
第4回 9月19日(木)	事例検討 退院調整 地域との連携	訪問看護師 ケアマネ 病棟 地域連携
第5回 10月17日(木)	感染症情報と対策	感染管理認定看護師 渡邊 正美 副看護師長
第6回 11月21日(木)	KTバランスチャートの活用 ～口から食べる援助～	NST摂食嚥下障害看護認定看護師 龍里 智子 看護師
第7回 12月5日(木)	認知症	認知症看護認定看護師 浜口 美穂 副看護師長
第8回 1月16日(木)	がん患者の痛みと症状緩和について ～事例を当てて学ぶ～	緩和ケア認定看護師 寺戸 純子 副看護師長
第9回 2月20日(木)	ストマーケア ストマーと周囲皮膚のトラブル対処法	皮膚・排泄ケア認定看護師 今若 育穂 副看護師長

研修医だより

命を守り育む医師を目指して



初期研修医2年目 齋藤 保隆

(H30年3月島根大学医学部卒)



日中は少し汗ばむほどの季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。5月の「研修医だより」を担当させていただきます研修医の齋藤保隆と申します。

簡単に自己紹介をさせていただきますと、私は高校卒業まで千葉県で育ち、縁あって島根大学医学部に入学後、ここ浜田医療センターに就職し2年目を迎えました。日々新しいことの連続で、浜田の自然を満喫しながら充実した生活を送っております。

趣味は運動で、甘いものを好んで食べます。短時間で心身共にリフレッシュさせるために有効で、どちらも自分にとっては欠かせません。

前置きはさておき、今年は後輩になる研修医が6人加わって、現在13人の研修医で切磋琢磨しております。今まで手取り足取り教えていただいた立場ではございますが、今度は先輩としての自覚も持ちながら、初心を忘れずに学んだことを少しずつ伝えていけたらと思います。まだまだ勉強しなければならないことも多く、新しい風に刺激を受けながら今まで以上に気合いが入っている今日この頃です。

今後についてですが、専攻科を決めている同期が多い中、自分は未だ進路が決まっていません。その分、研修先の各科で将来働く自分をイメージしながら貪欲に学ぶことができたと思っております。

浜田医療センターの先生方は、知識や技術だけでなく、

人格や患者さんと向き合う姿勢まで、その背中を追いたくなるような医師ばかりです。多くの先生方に各科の魅力と共に日々熱心に指導いただき、専攻を決めることが惜しい位に充実した研修をしていると自信を持っています。

今後も全力で走りながら、島根県で自分に何ができるかを残された時間でゆっくり考えたいと思います。

最後になりますが、日々暖かい言葉をかけてくださる地域の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。毎日が充実しているとはいえ、時には苦しい思いをすることがあります。そんな時、患者さんやご家族様、医療センター職員の方々にいただく言葉と笑顔に大変励まされ、背中を押されてきました。自分が成長できるこの環境に感謝を忘れず、これからも浜田の医療に少しでも貢献できるよう直向きに精進して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

向暑の候、くれぐれもご自愛ください。皆様のみますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



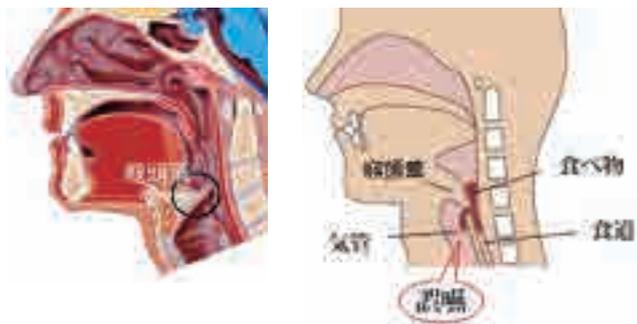
最近よくむせる!は 老化のサイン

摂食嚥下障害看護認定看護師 龍里 智子

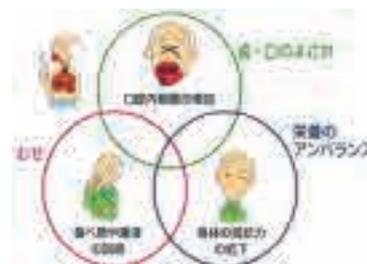


「誤嚥」とは飲食物や唾液が気管や肺に入ってしまうことを言います。

喉は喉頭蓋という「喉の蓋」を分岐点として食道と気管の二つに分かれます。喉の機能が落ちてくると本来、食道へ入るべき飲食物が誤って別の入り口(気管)に入ってしまうのです。



誤嚥性肺炎の原因は大きく分けて「口腔内細菌の増加」「食べ物や唾液の誤嚥」「身体の抵抗力の低下」の3つがあります。



「誤嚥するのはなぜ？」

加齢に伴い「嚥む」「飲み込む」時に必要な筋力が衰えてきます。そのため飲み込む力の低下により「ごっくん」という動作が弱くなり、食べ物が気管に入っていくやすくなります。「最近、食事中にむせることが多くなったな」と感じることはありませんか。もし心当たりがあれば飲み込む力が低下してきたというサインです。さらに飲み込む力が低下してくると気管に入り込んでしまった食べ物を排出できず、結果として肺炎を起こすことがあります。

誤嚥性肺炎には、次のような典型的な症状があります。

【誤嚥性肺炎の徴候】

- ◆発熱 ◆激しい咳 ◆黄色い痰 ◆呼吸が苦しい

また、高齢者は、肺炎とは無関係のような次の症状が見られる場合でも肺炎の可能性があります。日常生活の変化に気をつけ、これらの兆候がみられたらすぐにかかりつけの医師に相談することをおすすめします。

- ◆元気がない ◆食事時間が長くなる
- ◆食後に疲れてぐったりする
- ◆ぼーっとしていることが多い
- ◆失禁するようになった
- ◆口の中に食べ物をため込んで飲みこまない
- ◆体重が徐々に減ってきた ◆夜間に咳き込む

「誤嚥性肺炎を予防するには」

誤嚥性肺炎を予防するには、まず口腔内を清潔に保つことが第一です。そして「飲み込む力」を低下させないためにも、食べ物をしっかり嚥んで「ゴックン」としっかり飲み込み・しっかり呼吸して・しっかり声を出して喉を鍛えましょう。飲み込む力は全身の体力と相関しています。体力低下を防ぐには、1日3食バランスのとれた食事をして日中は精力的に活動して体を動かし、夜はぐっすり眠って疲労を取るといった規則的なリズムで毎日を過ごすことが大切です。





平成31年度 辞令交付式 (平成31年4月1日)

浜田医療センター院長 石黒 眞吾

皆さんおはようございます。

今、皆さんに辞令交付いたしましたして、たくさんの方々が新たに加わり、新年度が始まったと感じました。

他施設から移って赴任されてきた方、国立機構病院間での配置換え、あるいは今春卒業したばかりで初めて社会人になった方など、いろいろな状況があるでしょうが、皆さんを心より歓迎いたします。

また、この後3時間程度で新元号の発表があります。平成最後の辞令交付式であり、新しい元号とともに皆さんの人生の節目として記憶に残ることでしょう。

このたび77名の常勤職員と10名の非常勤の方が新たに当院で働くこととなりました。内訳は常勤医師として15名が新規採用となり、さらに6名の研修医が来てくれました。看護師は33名、薬剤師2名、放射線技師4名、検査技師3名、リハビリ療法士8名、臨床工学士1名看護学校教員1名、そして医療社会事業専門職1名、その他非常勤職員が4名です。

浜田医療センターは西部の拠点病院として、急性期中心の病院を目指してきました。しかし、超高齢化社会を向かえた今日、これからの多死社会に対応するため、医療環境は急速にパラダイムシフトが求められています。癌、あるいは生活習慣病として糖尿病、心・血管疾患が死因として取り上げられていますが、結局は老年期を迎えればこれらの多疾患を併存し、さらに認知症が加わって医療・介護を複雑化させています。地域にとっては健康寿命を過

ぎた方を看取るまでの医療・介護の社会システムをいかに形成するかが問われています。

そういった医療の転換期を迎えた状況で、浜田医療圏での中核病院として良質な医療を提供する必要があります。急性期の治療を経た患者さんの受け皿として、慢性期病床が足りていないように思います。今後、浜田医療センターは在宅を視野に入れ、訪問看護や介護施設との連携をより緊密にする必要があります。

医療環境が変化していくことには対応していかなければなりません。しかし、最終的には患者さんを中心とした病院に関わるすべての方(ステークホルダー)が喜んでいただけるには職員一人ひとりがどうすればよいか、という視点にたつて職員が同じ方向に向かうことが大切と考えます。

いろいろとご負担もかけるかとは存じますが、新鮮な発想と視野を持って浜田に新しい風を吹かせていただければと期待しております。



● 新任医師 ①出身大学 ②趣味 ③浜田医療センターについて(または一言)

消化器内科医長

大嶋 直樹

(おおしま・なおき)

- ①島根大学
- ③江津市の出身です。久しぶりに石見地方に戻ってきました。微力ながら地元の医療に貢献できるように頑張ってお参りますので、よろしくお願い申し上げます。

総合診療科医師

矢本 琢真

(やもと・たくま)

- ①島根大学
- ②読書
- ③貢献できるよう頑張ります。



呼吸器内科医師
谷野 明里

(たにの・あかり)

- ①島根大学
- ②食べること
- ③患者さんのために頑張りますので、よろしくお願いいたします。



消化器内科医師
田中 晋作

(たなか・しんさく)

- ①島根大学
- ②海外旅行
- ③何事にも興味・疑問を持ち、日々の診療に取り組みます。



消化器内科医師
高橋 佑典

(たかはし・ゆうすけ)

- ①島根大学
- ②バスケットボール
- ③浜田の皆さんが安心できる治療を提供します。



循環器内科医師
岡田 大司

(おかだ・たいじ)

- ①島根大学
- ②サッカー
- ③島根県西部の循環器診療拠点病院の一員として頑張ります。



腎臓内科医師
大庭 雅史

(おおば・まさふみ)

- ①島根大学
- ②釣り、映画鑑賞
- ③初期研修を終えたばかりで腎臓内科としてはもちろん医師としてもまだまだですが、地域に少しでも貢献できるよう頑張ります。



外科医師
永嶺 彩奈

(ながみね・あやな)

- ①島根大学
- ②食べること、習字
- ③最善を常に探していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。釣りをしてみたいです 🐟



整形外科医師
重高 智弘

(しげたか・ともひろ)

- ①島根大学
- ②サッカー
- ③精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



脳神経外科医師
安田 慎一

(やすだ・しんいち)

- ①島根大学



心臓血管外科医師
岸本 望

(きしもと・のぞみ)

- ①鳥取大学
- ②ドライブ、旅行
- ③地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



産婦人科医師
折田 剛志

(おりた・たけし)

- ①山口大学
- ②ピアノ演奏
- ③精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

● 新任医師

①出身大学 ②趣味 ③浜田医療センターについて(または一言)



産婦人科医師
中村 康平

(なかむら・こうへい)

- ①島根大学
- ②バイオリン、登山、ウルトラマラソン

麻酔科医師
松本 慶太

(まつもと・けいた)

- ①島根大学
- ②音楽を聴くこと
- ③手術を安全に安心して受けていただけるよう努めています。

放射線科医師
岸本 美聡

(きしもと・みさと)

- ①鳥取大学



初期臨床研修医
佐々木 眞優

(ささき・まゆ)

- ①島根大学
- ②旅行
- ③一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。



初期臨床研修医
柴田 洋平

(しばた・ようへい)

- ①鳥取大学
- ②登山
- ③頑張ります！



初期臨床研修医
濱崎 由文

(はまさき・よしふみ)

- ①島根大学
- ②食事
- ③頑張ります。



初期臨床研修医
岩田 雅人

(いわた・まさと)

- ①島根大学
- ②旅行、サッカー
- ③初心を忘れずに、日々頑張ります。



初期臨床研修医
河野 謙人

(こうの・けんと)

- ①島根大学
- ②テニス、映画鑑賞
- ③まだまだ医師として未熟ですが、浜田医療センターでしっかり成長したいと思います！



初期臨床研修医
内藤 聖記

(ないとう・まさき)

- ①島根大学
- ②サッカー
- ③2年間、浜田の医療に貢献できるように頑張ります。





4月8日(月) 浜田市長来院

浜田市長による研修医歓迎激励会

今年も当院初期研修医への歓迎の挨拶のため、久保田浜田市長が来院されました。「研修に力を注ぐとともに、山と海、両方の自然豊かな浜田での生活も満喫してほしい」との激励のお言葉をいただきました。当院からは1年目6名、2年目4名の研修医が参加し、浜田での研修を希望した理由や、将来どのような医師を目指しているかについて、自己紹介と共にお話しさせていただきました。はじめは緊張した雰囲気に含まれながらの歓迎会でしたが、座談においては、浜田地域での暮らしぶりの話で会話が弾み、次第に和やかな雰囲気に包まれていきました。最後に記念品として、浜田の名産品を久保田市長自ら研修医に

手渡すとともに、それぞれの研修医に激励のお言葉をかけていただき、出席者全員で記念撮影を行って散会となりました。これから本格的に研修が始まり、様々な困難・試練が訪れるであろう研修医にとっても、大変励みになる機会となりました。

これから診療において研修医が地域の皆様にお目に係る機会もあるかと思えます。至らない点もありますが、一人前の意志になるために日々精進してまいりますので、これからも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

(庶務班長 折出)



看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

入学式を終えて

67期生 吉丘 歩佳

入学式を終えて2週間が経ちましたが、先生・先輩方、病院職員の皆様からのあたたかい歓迎のおかげで、毎日楽しく過ごせています。

入学後3日間はオリエンテーション期間でとても緊張していましたが、クラスの学生は個性的で楽しい方が多く、すぐに打ち解けることができました。また、授業が始まるにつれて、看護学生の実感が徐々に沸いてきました。授業では大学や臨床、当校の先生など、様々な講師から専門的な知識を学ぶことがすごく良いと思います。さらに、先生方は授

業後も学生から意見や質問を求め、学生を理解しようとして下さることが嬉しいです。そのような学習環境から、私も頑張っ授業を理解しようと思えてきます。今は正直、学習方法が定まっていませんが、早く授業の流れに慣れてコツコツと頑張っていきたいです。

3年間は長いようで短いと思うので、先輩方と連携をとり、1日1日を大切に過ごしていきたいです。



全体集合写真



新入生の「誓いの言葉」



入学式の様子

学校職員紹介

4月から新しい教職員を迎え、新体制で本年度をスタートしています。
学生の若さに負けないくらい元気に笑顔で、学生の学びをサポートしていきます！

● 新任職員紹介



1年生担任
岡本 諭



オープンスクール

4月6日(土) オープンスクールを行いました。1年生と2年生が「はまかん」の良さを知っていただきたいと、春休み前から準備をしていましたが、島根県全域から40名の高校生に参加いただくことができました。プログラムは看護学生が看護学校での学習や学校生活を紹介する内容に、看護教員の進路説明、模擬授業を加えた盛りだくさんの内容で、看護学生と高校生が笑顔で交流することができた充実した時間でした。

たくさんある「はまかん」の良さの一つに、「学生同士の仲が良い」ということがあります。多数のご参加をいただいた保護者の方々からも「看護学生さんが明るいですね。」「学校の雰囲気がいいです。」とのうれしい感想をいただくことができました。

次回は7月20日(土)に開催します。午前中は小学生・中学生対象、午後は高校生・社会人対象です。「はまかん」で看護学生体験をしてみませんか。心よりお待ちしております。



血圧測定体験



学校生活の紹介



沐浴体験



創傷処置体験



看護学生との交流会



公開講座

Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

「地域とひとつ」になり守る交通社会

島根県公安委員会指定 はまだ自動車教習所

理事長 土田 好明



自動車教習所について

教習所とは、どのような場所だと思われますか。もちろん皆様もご存じだと思いますが教習所とは、運転免許を取得する為の場所ですが、既に運転免許を取得されている方には、懐かしい場所であり、教習中に失敗をした苦い思い出や、試験に合格した時の喜びや感動を思い出されるのではないのでしょうか。また、これから運転免許を取得される方にとっては、自動車を運転する事の期待や不安を抱きながら、入校日を迎えられるのではないかと思います。

当教習所では、**年間に約600名のドライバーを教育**し交通社会へと安全運転を願い送り出しています。

無くならない「交通事故」

想像してみてください。もし自分が病気やケガ等で自動車の運転が出来なくなるような状況になってしまった場合、今までと同じ生活ができるでしょうか。生活のリズムは180度変わり、通勤、買い物、子供の送迎等に多くの時間を費やし、多くの費用を移動する為に負担することになると思います。自動車は、私たちの生活に多くのメリットを与えてくれています。しかしその反面、テレビやラジオからは「〇〇県で交通事故が発生し、〇名死亡、〇名重傷です」等のニュースが後を絶ちません。**全国では、年間で約40万件的交通事故が発生し、約3000人の尊い命が失われています。**この悲惨な交通事故を起こさないよう、安全なドライバーの教育が教習所には求められています。

はまだ自動車教習所の「もう一つの役割」

基本的に運転免許は、取得すればその後に再教育を受けることは、ほとんどないですし、運転は出来るのだから再教育なんて必要ない、と思う方も多いと思います。しかし、年齢を重ねると体や認知機能が衰えていきますし、道路交通法も年々新しくなっていく、それらに合わせた運転をしていかなければなりません。

そこで、運転免許を取得されている方だけでなく、この浜田地域から交通事故を無くす為に、当教習所のもう一つの役割である「**地域の交通安全センター**」としての取り組みを紹介します。

●企業講習

各企業や会社の職員へのドライバー再教育を行い、業務中、通勤時での交通事故を起こさないような講習を実施しています。

●交通安全週間中の街頭啓発活動

交通量の多い国道9号で、職員が安全運転のプラカードや旗を持ち街頭指導を行います。

●教習所一日開放

地域の方へ教習所を開放し、安全運転機材の体験を行い、地域の皆様へ交通安全の講話等を行います。

●高齢者講習

70歳以上で免許を更新しようとする運転者に対し、講話、視力検査、運転実技観察を行い、いつまでも安全運転が続けられるようにアドバイスを行います。

●ペーパードライバー講習

長期間運転をしていない等、運転が不安な方に教習所コースや路上でのアドバイスを行います。また、病気等で運転から離れていた方が再び安全に運転出来るように、教習所コースでリハビリを兼ねた指導を行っています。

上記のような様々な取り組みを行い、地域とひとつになり交通事故を少しでも減らせるよう努めていき、子どもから高齢者まで安心して過ごせる交通社会を目指しています。



企業講習の様子



高齢者講習の様子



安全運転体験(スリップを疑似体験できるスキッドカー)



ペーパードライバー講習

がん治療経験者と話してみませんか？

2019年度島根県がんピアサポーター相談会の浜田医療センター開催日程が決定しましたのでお知らせします。

開催日 6月12日(水)・8月28日(水)・11月13日(水)・2月19日(水)

時間 9:30~11:30

対象者 がん患者さん・ご家族など

●患者さんの受診医療機関は問いません ●事前予約が可能です ●相談無料・秘密厳守



お問合せ・お申込み / 浜田医療センター がん相談支援センター ☎0855-28-7096



健康レシピ

浜田医療センター お食事より

さわらのソテー

～ねぎソースかけ～

1人前

180 kcal

たんぱく質: 15.4g

脂質: 9.5g

糖質: 5.0g

塩分: 1.0g

調理時間 / 10分



食材のお話

さわら～春を告げる魚～

サバ科に属する海水魚。細長い体の大型の魚です。成長するに従って、「サゴシ→ナギ→さわら」と呼び名が変わる出世魚で縁起のよい魚です。西日本では春から初夏にかけてが旬。

淡白でクセがなく、和・洋・中どんな料理とも相性がよい魚です。

作り方 材料(4人分)

- ★さわら(切り身) …………… 4切れ(280g)
- ★塩 …………… 少々
- ★粗びきこしょう …………… 少々
- ★小麦粉 …………… 適量
- ★サラダ油 …………… 大さじ1
- ★みそ …………… 大さじ1.5
- みりん …………… 大さじ1
- 酒 …………… 大さじ2
- ④ 万能ねぎ …………… 4本
- ゆでたけのこ …………… 50g

- ①さわらに塩、こしょうで下味をつける。
 - ②①のさわらに小麦粉をまぶし、余分な粉をおとす。
 - ③フライパンにフライパン用ホイルシートをしき、加熱する。
 - ④フライパンを強火で熱し、サラダ油をホイルシート全体にひき、さわらをのせて焼く。
 - ⑤たけのこはサッと洗い、一口大に切る。④のさわらの横で一緒に焼く。
 - ⑥焼きあがったさわらとたけのこを皿に取り出す。
 - ⑦万能ねぎは小口切りにする。
 - ⑧さわらを焼いたフライパン(フライパンシートはそのまま使用)にねぎと④を入れて加熱する。さわらの上からねぎソースをかける。
- ★テフロン加工のフライパンやフライパン用ホイルシートを使うとこげつきません。

工夫をすれば治療食 ～病院の食事はこうなっています～

●高血圧・心臓食【減塩☆】

魚の下味にお塩は振らずに、こしょうのみにします。ソースの量は少な目にしましょう。

●腎不全食・透析食

【減塩☆・減カリウム・水分制限】

たんぱく制限がある場合はお魚をひとまわり小さくします。魚はソテーではなく、油で揚げます。たけのこは茹でこぼします。ねぎは水にしっかりさらします。 ☆高血圧食参照

●腎臓食・肝不全食

【減塩☆・減たんぱく】

魚を一回り小さくします。 ☆高血圧食参照

●消化管術後【減繊維・減食量】

全体的に量を2/3にします。魚の下味の粗びきこしょうは使用しません。たけのこは繊維の固くない他の野菜に変更しましょう。

●低栄養【エネルギーアップ】

魚はソテーではなく、油で揚げます。また、合わせ調味料にごま油などを足し、エネルギーアップさせましょう。

●糖尿病食【減糖質・減カロリー】

さわら切り身70g(1人分)は1.5単位です。カロリーを減らしたい時は白身魚に交換すると良いでしょう。また、付け合わせに食物繊維の多い野菜やきのこをたっぷり使いましょう。

浜田医療センター 外来診療担当医表

令和元年5月1日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	矢本 琢真	矢本 琢真 (糖尿病外来)	河田 公子 ^{※1}	北條 宣政	※1 診療時間9:30~ ※2 診療時間10:00~12:00
	再診	河田 公子 (糖尿病外来) ^{※1}	河田 公子 ^{※2}	北條 宣政	-	-	
血液・腫瘍内科		-	島根大学より ^{※1}	-	島根大学より ^{※1}	島根大学より ^{※2}	※1 (診療時間9:30~午前のみ) 予約制 ※2 隔週(診療時間9:30~午前のみ) 予約制
腎臓内科		岩下 裕 ^{※1}	-	担当医 ^{※1}	岩下 裕 ^{※1,2}	担当医 ^{※1}	※1 診療時間9:30~12:30 ※2 予約制・初診は紹介患者のみ
特殊外来		-	-	-	透析予防外来 ^{※3}	-	※3 第2・第4木曜日 予約制
内分泌・代謝内科		島根大学より [※]	-	-	島根大学より [※]	-	※ 予約制
呼吸器内科	1診	谷野 明里 [※]	柳川 崇 [※]	島根大学より [※]	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
	2診	-	島根大学より [※]	-	谷野 明里 [※]	-	
脳神経内科		-	島根大学より [※]	-	-	木谷 光博 [※]	※ 午後 予約制
消化器内科	初診	高橋 佑典	生田 幸広	岸本 健一 田中 晋作	大嶋 直樹	張 優美	
	再診	張 優美	高橋 佑典	大嶋 直樹	岸本 健一 田中 晋作	生田 幸広	
循環器内科	初診	飯田 博 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	松田 晋 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 ^{※1}	※1 予約制・紹介患者のみ ※2 予約制
	再診	松田 晋 ^{※2}	-	明石晋太郎 ^{※2}	-	飯田 博 ^{※2}	
午後外来		ベースメーカー外来 ^{※2}	-	失神外来 ^{※2}	-	岡田 大司 ^{※2}	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	外来担当医 齋藤恭子・田部有香 ※1 毎週火曜日 (1才以上 診療時間10:00~) 予約制 (1才未満 診療時間13:30~) 予約制
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		-	予防接種 ^{※1}	-	-	-	※2 予約制 ※3 毎週金曜日 (診療時間13:00~) 退院時予約制
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診) ^{※2}	予防接種 ^{※1}	フォローアップ外来 (再診) ^{※2}	フォローアップ外来 (再診) ^{※2}	1か月健診 ^{※3}	※4 毎月第1・第3木曜日 内分泌外来 (受付時間13:30~15:00) 予約制 ※5 毎月第3水曜日 神経外来 (診療時間10:30~) 予約制
特殊外来		-	-	-	内分泌外来 ^{※4}	-	
外科	1診	栗栖 泰郎	永井 聡	栗栖 泰郎	渡部 裕志	高橋 節	
	2診	-	-	永嶺 彩奈	-	-	
午後・特殊外来		-	-	-	ストーマ外来 [※]	-	※ 診療時間8:30~14:00 予約制
乳腺科		吉川 和明	-	-	吉川 和明	吉川 和明	
整形外科	1診	渡辺 洋平	柿丸 裕之	担当医 ^{※1}	柿丸 裕之 (脊椎外来)	手術日	※1 初診・紹介患者のみ ※2 隔週火曜日 紹介患者かつ予約制
	2診	沖田 聡司	重高 智弘	手術日	渡辺 洋平	-	
	3診	-	-	-	猪木迫彩香	-	
関節リウマチ外来		-	近藤 正宏 ^{※2}	-	-	-	
形成外科		担当医 [※]	-	-	-	-	※担当医 松江日赤医師・島根大学医師 ※毎週月曜日(診療時間10:30~15:00) 予約制
脳神経外科		加川 隆登 [※]	手術日(休診)	木村 麗新 [※]	-	-	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	
心臓血管外科		石黒 眞吾	手術日(休診)	岸本 望	手術日(休診)	石黒 眞吾	
皮膚科		進藤 真久 [※]	手術・特殊検査 (休診)	進藤 真久 [※]	進藤 真久 [※]	進藤 真久 [※]	※ 予約制
泌尿器科		手術日(休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
産婦人科	1診	小林 正幸	平野 開士	中村 康平	折田 剛志	小林 正幸	※1 (診療時間9:00~12:00) 予約制 ※2 (診療時間13:30~15:00) 予約制 ※3 (診療時間14:00~15:30) 予約制 ※4 (診療時間13:00~15:00)
	2診	平野 開士	折田 剛志	小林 正幸	平野 開士	中村 康平	
	3診	-	-	-	中村 康平	-	
午後外来		超音波外来 ^{※2}	乳房ケア外来 ^{※1} 助産師外来 ^{※3}	乳房ケア外来 ^{※1} 助産師外来 ^{※3}	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	産褥外来 ^{※4}
眼科		井上真知子	手術日(休診)	井上真知子 [※]	井上真知子	井上真知子	※ 毎週水曜日 (診療時間9:00~)
耳鼻咽喉科		-	鳥取大学より ^{※1}	-	-	鳥取大学より ^{※1}	※1 午前のみ(診察時間8:30~12:00) 予約制・初診は紹介患者のみ
午後外来		鳥取大学より ^{※2}	-	-	鳥取大学より ^{※2}	-	※2 午後のみ(受付時間12:00~16:30) 診療時間15:00~17:00
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		-	担当医 [※]	-	-	-	※ 診療時間13:30~15:00
リハビリテーション科	不定	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	※ 予約制(地域連携室経由)
麻酔科 (ペインクリニック)		-	担当医 [※]	-	-	-	※ 診療時間 9:30~ 予約制・紹介患者のみ
歯科口腔外科		恒松 晃司 [※]	恒松 晃司 [※]	手術日	恒松 晃司 [※]	恒松 晃司 [※]	※ 予約制・初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分~午前11時00分(再来受付機は午前8時より稼働)

最初で最後になるかもしれない10連休がありましたが、病院は入院患者さんがいるため1日も休むことはできません。職員が疲弊しないよう地域で求められていることも実現しながら職務に邁進していきたいと思っております。(A.I)